

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
微生物学		BNNSB1L03	20103	1前	1(30)	必修
担当教員	岸 正					
概要	微生物には人の生活環境において有益なものが多いが、人に感染症を引き起こすものも少なくない。感染症を起こすものを特に病原微生物と呼んでいるが、これら微生物の個々の特徴と性質をよく知り、感染の経路や感染防止の方法についてよく理解することが必要である。本講義では、これら微生物について周知しておくべき基礎知識を述べる。毎回講義資料を配布するので、これをもとに復習及び次回の予習を行うこと。					
学修目標	①細菌やウイルス等、各微生物の構造や特徴について比較して述べるができる。②種々の微生物が引き起こす感染症を挙げ、その感染経路を説明することができる。③消毒や滅菌について比較して述べるができる。④感染をしない、させないための無菌操作が応用できる。					
DPとの対応	智をいつくむ力		人をいつくむ力		命をいつくむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		
1	はじめに、パスツールの実験の意義、病原微生物とは、コッホの条件、ヒトと微生物、微生物の命名			教科書のはしがきと第1章微生物と微生物学をよく読んでおくこと。		
2	細菌の形態と特徴、染色法、細菌の構造、抗原性			予習内容の詳細は、前回配布講義資料の次回講義内容欄を参照のこと。		
3	細菌の栄養と代謝、感染と感染経路			"		
4	バイオハザードとバイオセーフティ、滅菌と消毒			"		
5	手洗いの問題点、石鹼と消毒薬の違い、化学療法薬と耐性菌①			"		
6	化学療法薬と耐性菌②、免疫について(抗原、抗体、補体等)			"		
7	ワクチンと血清療法、食中毒について			"		
8	細菌による感染症①			"		
9	細菌による感染症②			"		
10	細菌による感染症③			"		
11	スピロヘータによる感染症、リケッチア、クラミジアの特徴と、その感染症			"		
12	マイコプラズマの特徴と、その感染症、ウイルスの特徴と、その感染症①			"		
13	ウイルスによる感染症②			"		
14	ウイルスによる感染症③			"		
15	プリオン、真菌、原虫の特徴と、その感染症、まとめ			"		
使用テキスト	系統看護学講座 微生物学 医学書院					
参考図書	授業中に適宜、提示する。					
成績評価基準	定期試験100%					